



「情熱」「行動力」「アイデア」の新しい風で、みなさんと一緒にまちづくり

清流だより

第11号

令和2年1月1日発行



もっと 南木曽を元気に!

【討議資料】

発行責任者：向井ひろあき後援会

木村左右和

連絡 先：南木曽町読書2740-2

電話 0264(57)2475

日々の活動の様子は「向井ひろあきブログ」町HP「町長の部屋」で発信中 ⇨



住んで良かった
暮らして良かった
住むなら 南木曽

南木曽町に住んでいる人達が「住んで良かった」「暮らして良かった」「住むなら南木曽」と胸を張って言えるような町にならなければなりません。そうすれば、おのずと人口対策にも光が見えてくるはずです。

私たちは「もっと南木曽を元気に」のスローガンを掲げ、町の諸課題に誠実に対処している向井裕明君を応援しています。

就任以来「声なき声も聞く」を地で行き、身近な町長として多くの皆様方のご意見ご要望、叱咤激励を頂いています。

今後、町が発展し、住みよい町になるような施策を実行するためにも、後援会の更なる充実が肝要です。一人でも多くの方にご入会頂き、共に元気で豊かな町づくりのために、ご協力頂ければと思っています。

「向井ひろあき後援会」をどうかよろしくお願い致します。

向井ひろあき後援会長 木村左右和

【この4年間に皆さんと取り組んできた主な実績や計画など】

(令和元年12月現在)

定住化対策

- ・町営住宅、ユーアイ住宅の建設、ミニ宅造事業などの住環境整備
- ・空き家活用対策協議会設置と支援事業
- ・全戸光ケーブル化事業（20年度工事予定）

子育て教育支援

- ・不妊不育治療上乗せ補助
- ・産後ケアの実施
- ・親子3歳児歯科検診（無償）
- ・5歳児健診（無償）
- ・保育園給食費無償化
- ・子ども応援給付金制度
- ・放課後子ども教室拡充
- ・入学祝い品贈呈
- ・中学校学力検定費用補助
- ・中3高3インフルエンザ予防注射無償化

健康辛せづくり

- ・健診助成拡充（国保健診受診率が県内で2番目に上昇、医療費減少に）
- ・地元医師との懇談会の場を設置
- ・交通死亡事故ゼロ継続記録更新中
- ・高齢者運転免許自主返納支援制度創設
- ・自動車踏み間違防止装置補助制度創設
- ・バス乗継割引制度、障害者割引制度
- ・蘇南生、外国語専攻大学生による外国人観光客との交流

元気が出る産業活性化策ほか

- ・バスやHP英語案内などインバウンド対応
- ・町観光協会法人化支援
- ・農林業各種施策への支援
- ・地元材、地元業者による建設事業（妻籠分館）
- ・国県道、右岸道路の継続整備
- ・全戸防災無線取換え、河川水位計増設
- ・若者交流会議、婚活支援制度
- ・ふるさと納税WEB登録とカード決済化



イメージを描き、
夢や希望の持てる
町づくりをめざして
いきます！



若者が「住みたい」と言える町に

【積極的な若者・子育て・教育支援の継続】

- ・若者や子育て世代の負担軽減が図れるよう、婚活から不妊不育・子育て各種支援制度をさらに充実させます。
- ・身近な保育園に安心して預けられる未満児保育の充実と、こども園による小学校に繋がる幼児教育をめざします。
- ・小1、中1の力べが出来ないように放課後子ども教室の充実や教育・学力支援をしていきます。

皆が「住んで良かった」と言える一人一人が健康で輝く町に

【地元医療機関の確保と健康づくり】

- ・地元医師との連携を進めて身近な医療機関確保と住民の健康づくりを推進します。
- ・健診率向上による早期発見早期治療で健康長寿と医療費の抑制を一層進めます。
- ・木曽病院、中津川市民病院をはじめとする周辺病院との救急医療体制の確保に努めます。

誰もが「住むなら南木曽」と言える元気あふれる町に

【地域経済と産業の活性化】

- ・妻籠分館整備がモデルケースとなるように、小さくても地元業者が関わって地域経済が回る仕組みを追求します。
- ・観光、自然、歴史文化を活かした町づくりを進め、農林・商工業の後継者確保・事業承継や起業を応援します。
- ・砂防治山治水防災など地域の安全対策を図りながらも、地域経済への波及効果を確保していきます。
- ・リニア新幹線工事の保全対策と開通後の効果を活かせる町づくりを行っています。

【住環境の整備推進】

- ・単身住宅や住環境の整備などにより、引き続き住む場所の確保のための対策を行っていきます。
- ・通勤圏拡大とリニア効果を活かせるよう19号の抜本的改良と右岸道路など主要道路の整備促進に取り組みます。

【情報通信の活用】

- ・光回線工事を早期に実施し、産業・医療・教育など各方面での新たな取り組みにチャレンジします。

【子どもからお年寄りまで安心できる福祉】

- ・気軽に相談し頼りがいのある福祉となるように、関係機関が連携し親身なサービスを進めます。
- ・配慮が必要な子どもやハンデのある人への支援を行って自立と社会活動参加を促していきます。

【人づくり、人材確保で豊かな未来を】

- ・子ども達がふるさとへの愛着を持ち、将来戻ってきたいようになるように「ふるさと学習・体験」の機会を増やします。
- ・公民館、なぎそチャレンジクラブ、健康マラソン、若者交流会議、蘇南高校支援など人づくり、仲間づくりを推進します。
- ・ふるさと納税、地域おこし協力隊などの制度を活用しながら地域の活性化を図ります。